

雑学3題プラス

JJ1SXA/池

割り箸の名前の由来

「割って使う箸だから、割り箸」と思っている人が多いが、実はそうではなく、割り箸は、割る箸ではなく、木や竹を割って作るから割り箸というのだそうです。

また、割り箸の袋に書いてある「御手元(おてもと)」は、「手もと箸」を丁寧に表現した言葉のようです、懐石料理の預鉢や八寸など日本料理の盛り鉢料理には「取り箸」が添えられている、それに対して各自で使う箸を「手もと箸」と呼ぶ、つまり、お客様の手元にある箸という事を表している。

糸通しの正式名称

針に糸を通す道具、いわゆる糸通しの正式名称は「ニードルスレイダー」または、「スレダー」「スレッター」という。

戦前からドイツ、イギリスから輸入されていたらしく、表面に人物が描かれていて、戦後、国内で作られるようになり、真似て人物を入れたが、輸出用に作られたものなので、外国人に親しみやすいようにと、適当に西洋人の顔をプリントしたらしい。



ピッケルホルダー

リュックやバックパックなどについている、写真で見る「コレなに？」は、実は「ピッケルホルダー」というもの、元々は登山道具のピッケルなどの道具をくくりつけるためのもので、ピッケルホルダーにベルトを通し使用する。

それが現在では、デザインの一部として使われており、穴が十字になっているものなどもある。



(プラス)

フェースブックで見つけた、興味ある情報

イオンの商品でバーコードが880で始まるのは韓国製、690～695で始まるのはチャイナ製。

ただし、49(日本)で始まったからと言って日本製であるとは言えない、あくまで生産者や輸入業者がその商品をバーコードを管理する機関登録した場所。

中身をバルクで輸入し、日本でパッケージングした商品には、海外製であれ、ほぼ、100%の商品に49(または45)の日本のJANコードが付きます。

例として、韓国産のキムチを日本国内の業者が桶で輸入して、国内に入ってから小袋に詰め直したりしたもののJANコードは、100% 45か49で始まる日本のコードが付けられます。

ボトムラインとして、バーコードが、880や690～695で始まるのは「確実に避けるべき」です、特に食品。

こんな情報は全く知らなかったのですが、怖い話です、スーパーなどでは、野菜にしても、ウナギなどにしても、中国製だから止めよう、韓国製だから止めておこうと、商品の日本語表示で選択しますが、バーコードで選別しなければいけないとは、面倒くさい！

参考

JANコードは「どの事業者の、どの商品か」を表す、世界共通の商品識別番号です。

JANコードは、商品のブランドを持つ事業者が、「一般財団法人・流通システム開発センター」から貸与されたGS1事業者コードを用いて、商品ごとに設定します。

通常、バーコードスキャナで読み取れるように、JANシンボルというバーコードシンボルによって商品パッケージに表示されます。

JANコードとJANシンボルは世界共通の仕組みであり、多くの国で使用されています。

JANコードは日本国内での呼び方です(JANとはJapanese Article Number ジャン)。

国際的にはEAN(European Article Number イアン)コード、あるいは、GTIN(ジーティン)-13(標準タイプ13桁)、GTIN-8(短縮タイプ8桁)と呼ばれます。

これ以上の詳細は、各自で調べて下さい、早い話、ここから先はわからないということです(笑)